

平成30年 7月 9日  
国土交通省九州地方整備局  
緑川ダム管理所

## 【速報】7月5日からの大雨における 緑川ダム防災操作の効果について

緑川ダムでは、7月7日に防災操作を行いました。

ダムへ流れてくる水量の一部をダムへ貯めることで、ダム下流へ流す水量を最大で約1割低減しました。

これにより、ダム下流の中甲橋水位観測地点において、河川の水位を約28センチメートル低下させる効果があったと推測されます。

・緑川ダムでは、7日6時20分に699m<sup>3</sup>/sの流入があり、そのうち82m<sup>3</sup>/sを貯留して617m<sup>3</sup>/sを流し、下流河川の増水を緩和しました。

ないだいじん

・内大臣雨量観測所の総雨量：314mm（5日4時～8日11時）

やべ

・矢部雨量観測所の最大1時間雨量：29mm（7日4時～5時）

※観測所所在地

ないだいじん

内大臣雨量観測所：熊本県上益城郡山都町菅字菅内大臣国有林43ソ小班

やべ

矢部雨量観測所：熊本県上益城郡山都町下市236-1

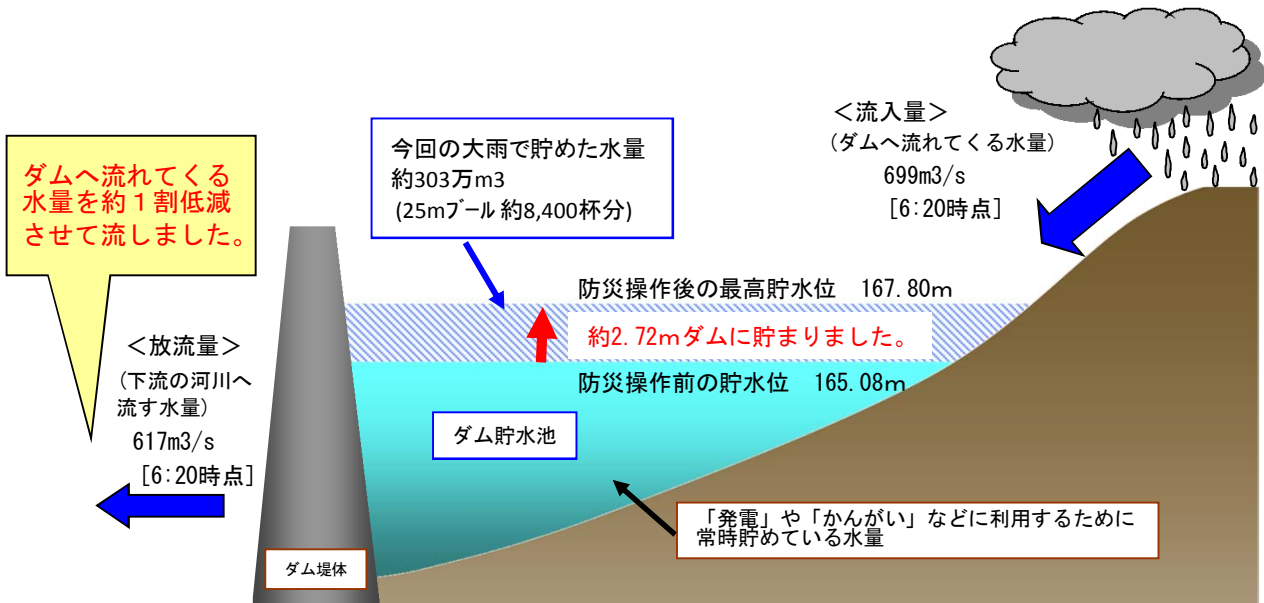
緑川ダム管理所HP <http://www.qsr.mlit.go.jp/midori/>

問い合わせ先：国土交通省 緑川ダム管理所

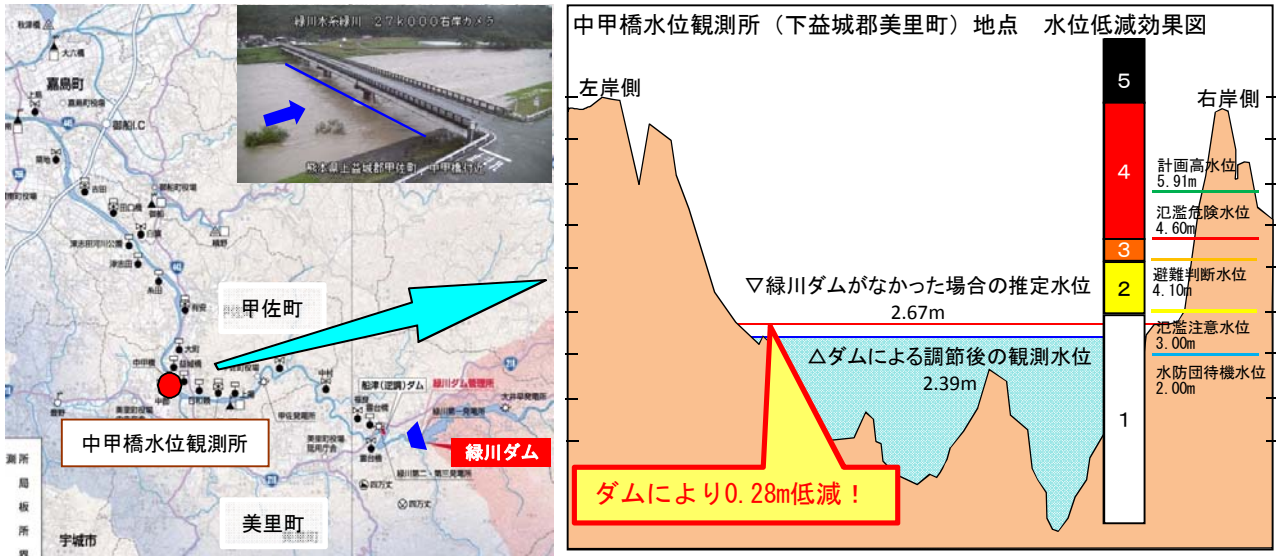
専門官 岩崎 靖生

電話：0964-48-0216（代） FAX：0964-48-0752

## 【緑川ダムの防災操作】



## 【緑川ダムにおける水位低減効果(最大)】



※ダムがなかった場合の河川推定水位やその低減量等、本発表における数値は速報値です。最終的に整理される数値とは異なる場合があります。